

## 1 研究の趣旨

本校は、県内で唯一、教科「演劇」の授業を展開し、演劇の手法を活用したコミュニケーション教育の実践を積み重ねてきた。「人と人との関係の芸術」である演劇を授業で学ぶことにより、生徒の創造性や表現力の伸張、コミュニケーション能力の向上及び人間理解の深化など、演劇が教育にもたらす豊かな人間育成をねらいとしている。

学校教育においてはコミュニケーション能力開発の重要性は叫ばれつつも、その具体的なカリキュラムは未開拓の状況にある。本校の「演劇」の授業での取組みと、それによって生徒達がどのように成長したのかを具体的に紹介するとともに、本校の実践が、「コミュニケーション教育の具体的な展開の仕方」、「学校教育において芸術が果たす役割の考察」、「在学中に学んだことを表現する教育の充実（上級学校進学のための学びを超えて）」等の学校教育の課題の解決に貢献できるのではないかと考え、検証・考察を行った。

## 2 研究の概要

### (1) コミュニケーション教育の現状と課題

- ① コミュニケーション能力の定義
- ② 本校におけるコミュニケーション教育

### (2) 本校の教育の概要と授業実践

- ① 芸術・表現系列（演劇）関係科目
- ② 「演技・演出」、「演劇総合演習」の授業概要 ～体験獲得型授業の重要性について～
  - ・ 集団創作「あいさつ」を通じた合意形成能力の育成
  - ・ 生徒の成長や目的に応じたワークショップの実施
  - ・ 自画像公演
  - ・ 卒業公演
- ③ 「演劇表現」の授業概要
- ④ 1年次対象のコミュニケーション ワークショップの実施とその効果

### (3) 試験の実施と評価

- ① 実技試験の実施について
- ② 評価項目と評価の観点
  - ・ 実技試験の評価項目
  - ・ 意識調査の実施（計4回）
  - ・ 実技反省用紙
  - ・ アンケート

## 3 成果と今後の課題

### (1) 生徒の変容

- ① 意識調査のレーダーグラフから
- ② アンケート結果から
- ③ 進路の面から（職業選択や生き方への影響について）

### (2) コミュニケーション力を育成する場 一日々の「舞台」で「演じる」こと

### (3) コミュニケーション教育の発展のために望むこと